

(2) 活動の実際

①地域の歴史を学ぶ

6年生は松岡古墳群の一つである手繰ヶ城山古墳を見学し、1学期に社会科の授業で学習した内容をもとに、古墳時代の当地域の様子について学習をした。福井平野を見渡せる壮大な手繰ヶ城古墳の見学を通して、当時の人々の苦労を実感するとともに、古墳に葬られている豪族の力の大きさを感じることができた。

5年生は、専門知識を有する外部講師を招き、当地域の豪族であった波多野氏と山城跡がある城山についてや、波多野氏と朝倉氏の関係などについての話を聞いた。当時、波多野氏は朝倉氏と主従関係にあり、城山の山城は外敵の動きを見張り、その進入を防ぐために必要なものだったことを学んだ。

3年生は、波多野氏に招かれた道元禅師によって開かれた大本山永平寺を見学し、七堂伽藍の荘厳さに触れるとともに、座禅体験等を通して禅の心についての理解を深めた。

②地域の名所作り ～城山登山を通じて～

本校では数年前より、校歌にも歌われている城山について学習している。児童は、何度も城山登山を行いながら城山の歴史や自然について学び、地域の名所として城山を活性化させる様々な取り組みを考えてきた。また、戦国武将の甲冑を模した段ボール甲冑を着て地域を練り歩く「子ども甲冑行列」に初めて参加し、城山をアピールすることもできた。

今年度は、昨年度から取り組んでいた城山の自然について学んだことを表した看板を完成させることができた。そして、この看板を城山に設置して登山者に楽しんでもらうことができた。また、城山のイメージキャラクターを数点デザインし、「永平寺灯籠流し」のお客さんに投票してもらって、キャラクターを決定するイベントを通して、城山をアピールした。「子ども甲冑行列」についても、児童のアイデアを生かして、ただ歩くだけでなく、チャンバラ合戦や弓矢体験等を取り入れることで、より楽しめるイベントにすることができた。

5年生は、城山を更に活性化させるために何ができるかを考え、地域の方々の前で発表し、自分たちの考えをより具体的で実効性のあるものにすることができた。今後は、この時の様々な取り組みのアイデアを実現させていくことが目標となっている。



城山のキャラクター
「城守(しろまる)」

③修学旅行での「永平寺町と城山のアピール活動」

6年生は、修学旅行で訪れた京都市街で、永平寺町と城山をアピールする活動を行った。児童は志比小のオリジナルTシャツを着て、城山をアピールするのぼり旗を立てて、永平寺町と城山のおすす

めポイントを発表した。(これらのTシャツやのぼり旗は6年生児童がデザインしたものである。)また、手作りの永平寺町パンフレットを通りかかった人たちに手渡し、永平寺町に来てもらえるように呼びかけることもできた。

修学旅行で、県外の人に永平寺町や城山の良さをアピールできたことは大変有意義だった。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- 4月：活動計画の打合せ
- 5月：城山登山（課題作り）
- 7月：城山への看板設置
- 8月：「永平寺灯籠流し」での
城山イメージキャラクター投票協力
- 10月：城山登山
5年生の活性化プラン発表会への参加（助言）
子ども甲冑行列



(4) 特に工夫した事項

- ・地域の方と十分に話し合い、児童の思いと地域の方の思いが重なるような活動となるように心がけた。児童のやってみたいという思いを大切にしながら、城山を活性化させるという一つの目標に向かって、地域の方と児童が協力して活動できるように計画し、実施した。
- ・地域コーディネーターを中心に、花谷城山会や各地区町内会等、各種団体と連携することで、組織としての継続的な協力体制を築くことができた。

(5) 成果と課題

- ・地域の歴史を学ぶことで、永平寺町には価値ある歴史的、文化的遺産が多く存在するを知り、自分たちの暮らす地域を誇りに思う気持ちを育むことができた。
- ・地域の方と児童が、一緒に楽しく活動する中で、活動の範囲が学校から地域、永平寺町、さらに県外と広がっていくたびに、子どもたちのやりがいも大きくなっていった。自分たちだけではできない活動を、地域の方と協力しながら実現することができた。活動を通して、児童の成長を確実に感じる事ができた。
- ・学校という場所が、児童と地域、町をつなぐ拠点となり、地域の方が学校という場所を身近に感じられたと思う。児童にとっても地域の方と親しくなることで、学校以外の場でも声を掛け合い挨拶を交わすなど地域との親密感が以前よりも増した。たくさんの地域の方が関わる学校、どんどん地域に出て行く学校、そして地域が今まで以上に活性化することを目標に、今後も活動を継続していく。